

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2024年2月15日 木曜日

リージョンにヘルプを表示するボタンを設置する

Oracle APEXでは、ページ・アイテムや対話グリッドや対話モード・レポートの列にヘルプ文書を埋め込むことができます。これらのヘルプ文書の埋め込みについては、以前に記事「APEXアプリケーションへのヘルプ文書の埋め込み」にて、その使い方を紹介しています。

以下より、リージョンに配置したヘルプ（?アイコン）をクリックして、ヘルプをポップアップする機能を実装してみます。Oracle APEXの標準機能としては、リージョンにヘルプを設定する方法はありません。

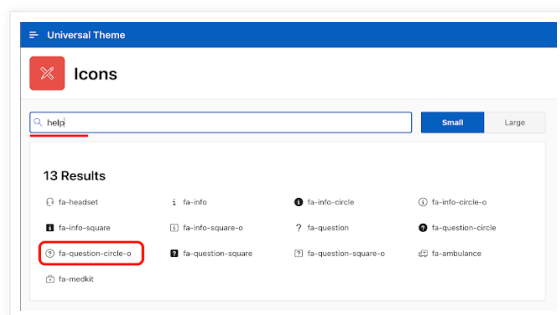
実装したヘルプは以下のように動作します。



ヘルプに使用するアイコンは、Oracle APEXにバンドルされているフォントFontAPEXから探します。

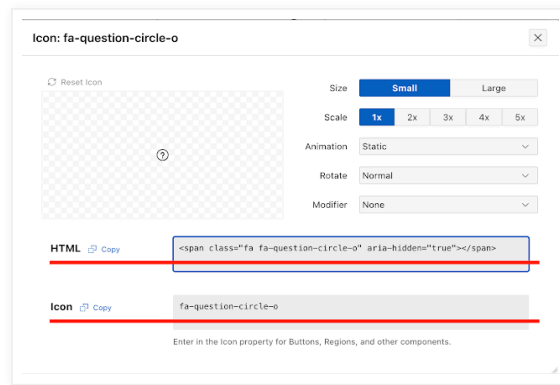
<https://apex.oracle.com/fontapex/>

helpで検索して見つけたfa-question-circle-oをアイコンとして使用することにします。



Size、Scale、Animation、Rotate、Modifierの選択により、アイコンを修飾できます。今回はアイコンの修飾は行いません。

ページにHTMLまたはIconの記述を埋め込むことにより、?アイコンを表示します。



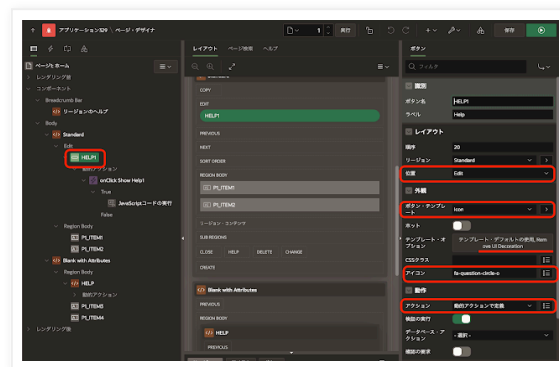
最初に、**外観のテンプレート**として**Standard**を選択しているリージョンにヘルプを実装します。



ヘルプの表示を、ボタンのクリックで行うように実装します。

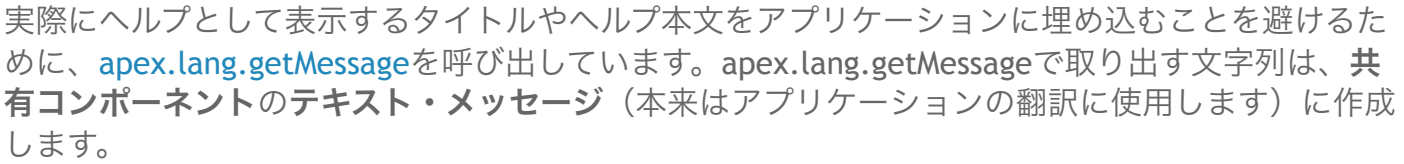
レイアウトの**位置**に**Edit**を選択することにより、ボタンを右上に配置します。**外観のボタン・テンプレート**として**Icon**を選択し、ボタンの表示をアイコンだけにします。**テンプレート・オプション**の**Style**に**Remove UI Decoration**を選択しボタンとしての修飾を無くし、アイコンだけが表示されるようにします。**アイコン**はFontAPEXで見つけたアイコン**fa-question-circle-o**を設定します。

動作の**アクション**は**動的アクション**とします。



ボタンをクリックしたときに実行される**動的アクション**の**TRUEアクション**として、**JavaScriptコードの実行**を選択します。**設定のコード**には以下を記述します。[apex.theme.popupFieldHelp](#)を呼び出すことにより、Oracle APEXが標準で提供しているヘルプと同じ動作でヘルプを表示できます。

```
const title1 = apex.lang.getMessage("CUSTOM_HELP_R1_TITLE");
const help1 = apex.lang.getMessage("CUSTOM_HELP_R1_HELP");
apex.theme.popupFieldHelp( {title: title1, helpText: help1 } );
```



作成する**テキスト・メッセージ**の名前に`apex.lang.getMessage`の引数となる値を設定し、**テキスト**として**取り出す文字列**を記述します。言語としてAPEXアプリケーションの**プライマリ言語**（通常は**日本語(ja)**）を選択します。アプリケーションの言語に一致している**テキスト・メッセージ**が選択されます。`apex.lang.getMessage`より文字列を取り出す場合は、**JavaScript**で**使用はオン**にします。

ヘルプのテキストはHTMLによる修飾が有効なので、ここで設定する**テキスト**に**HTML**を記述することができます。



以上で外観のテンプレートがStandardのリージョンに、ヘルプを組み込むことができました。

次に外観のテンプレートがBlank with Attributesのリージョンに、ヘルプを組み込みます。



先ほどの？アイコンはボタンで実装しています。ボタンによる実装の場合、ボタンをクリックした際などに、ボタンの境界が表示されることがあります。



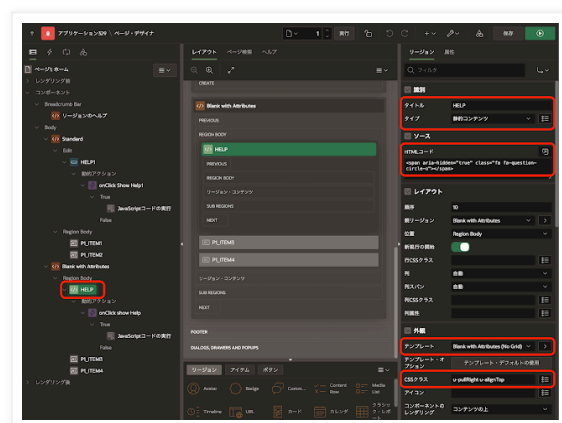
動作に影響しないため気にしなくても良いですが、ボタンの代わりにリージョンを使って実装してみます。

静的コンテンツのリージョンを作成し、ソースのHTMLコードとしてFontAPEXで見つけたアイコンのHTMLを記述します。

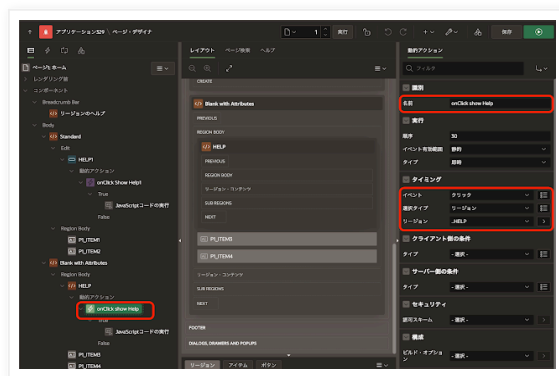
```
<span aria-hidden="true" class="fa fa-question-circle-o"></span>
```

外観のテンプレートとして、ほとんど修飾のないBlank with Attributes (No Grid)を選択します。親リージョンのテンプレートはBlank with Attributesであるため、レイアウトの位置にEditはありません。そのため、CSSクラスにUniversal Themeが提供しているLayout Modifiersに含まれるu-pullRight u-alignTopを指定します。

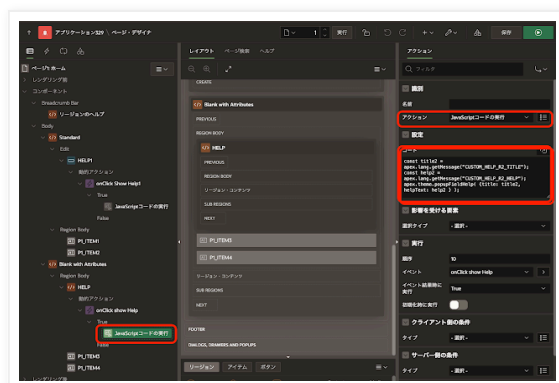
https://apex.oracle.com/pls/apex/r/apex_pm/ut/layout-modifiers



リージョンであっても**クリックのイベント**を取ることができます。このアイコンを表示しているリージョンに、**タイミングのイベントがクリックの動的アクション**を作成します。



TRUEアクションは、先ほどの実装とほぼ同じです。



以上で、リージョンにヘルプを表示するボタンを配置することができました。

簡単なアプリケーションですが、今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/sample-region-help.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 14:53

共有

<

ホーム

>

ウェブバージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)